

令和5年度全国保健師長会東北ブロック研修会  
「地域に責任を持つ多彩な保健活動」

## 【実践報告】

### 二次医療圏単位で進める 地域職域連携推進事業について

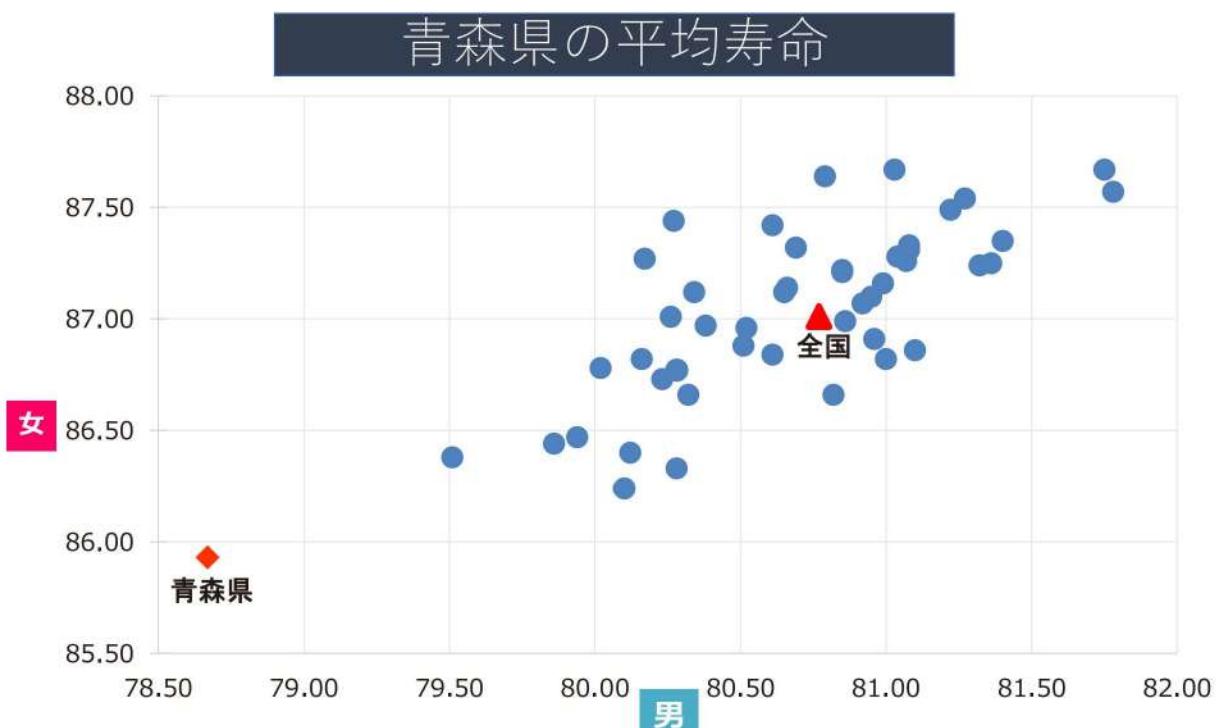
(三八地域・職域連携で働く人の健康づくり推進事業実践報告)



三戸地方保健所  
働く人の健康づくり関係HP

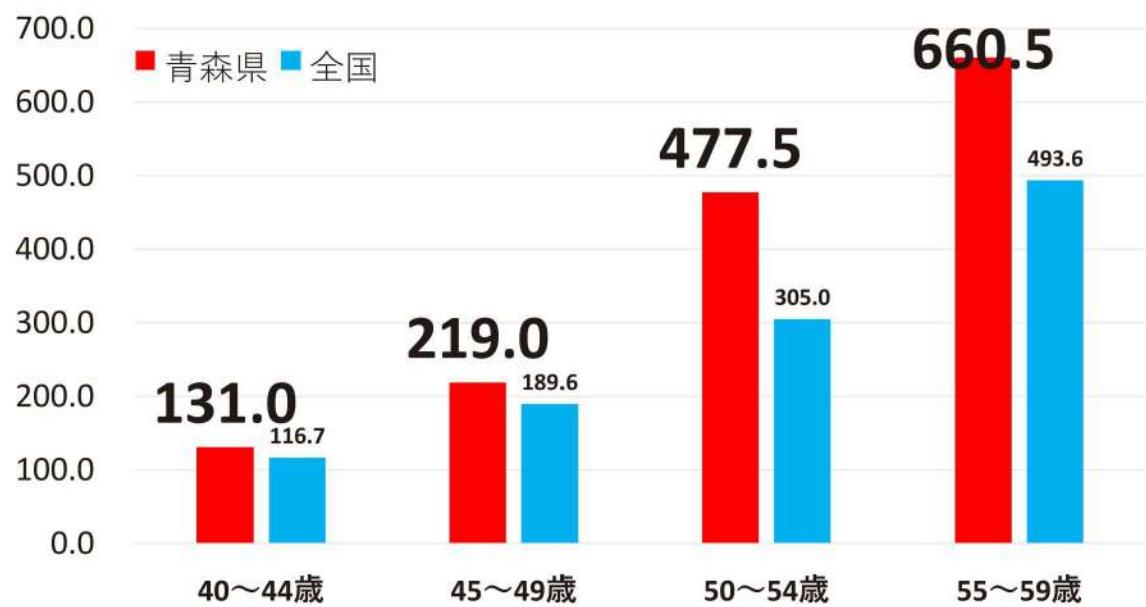
青森県三八地域県民局地域健康福祉部  
保健総室（三戸地方保健所） 健康増進課  
課長 北田 純代

#### 1. 青森県民の健康の現状と課題



## 40～50代の男性人口10万人当たりの死亡数

(総数)



出典：平成29年人口動態統計

本県の平均寿命は働き盛り世代の死亡の多さが影響している。

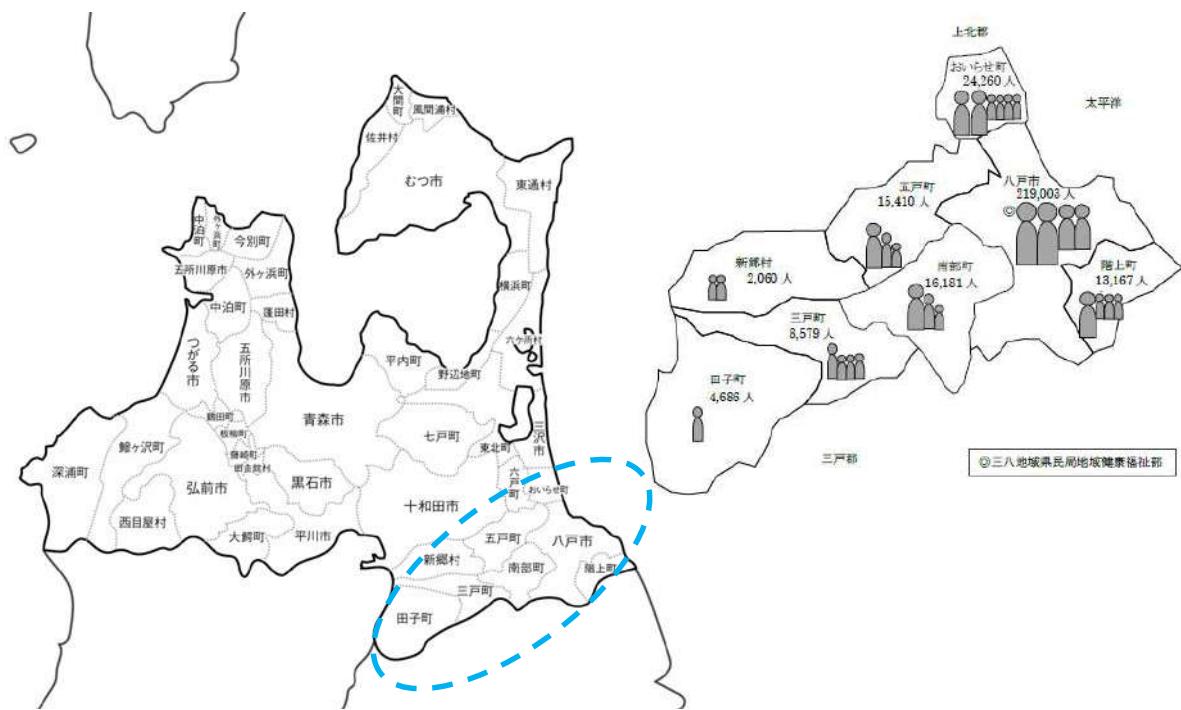
## 主な死因別死亡数の割合

死因	平成29年				平成28年			
	順位	死亡数	死亡数の割合	全国順位	順位	死亡数	死亡数の割合	全国順位
悪性新生物	1	4,986	28.4%	2	1	5,033	29.1%	2
心疾患	2	2,621	14.9%	13	2	2,566	14.8%	11
脳血管疾患	3	1,700	9.7%	4	4	1,610	9.3%	9
肺炎	4	1,407	8.0%	8	3	1,759	10.2%	5
老衰	5	1,178	6.7%	22	5	1,122	6.5%	21
不慮の事故	6	568	3.2%	9	6	539	3.1%	12
腎不全	7	376	2.1%	5	7	416	2.4%	3

出典：人口動態統計（厚生労働省）

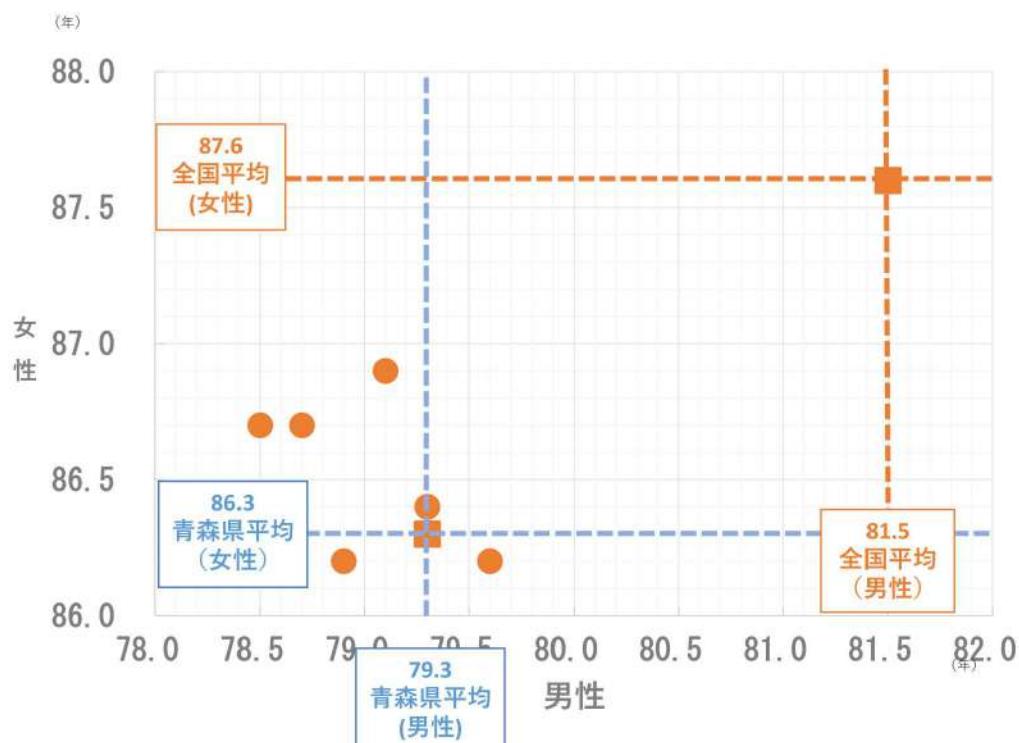
生活習慣病に関連する死亡が全国と比較しても多い。

## 2. 青森県三八地域の概況



三戸地方保健所の管轄地域は、  
八戸市（中核市）を除く7町村

管内市町村別平均寿命（2020年）



厚生労働省「令和2年市区町村別生命表」

### 3. 事業の経過

○県基本計画地域別計画の主な取り組み方針を実現する施策  
＝県民局重点事業として、令和元年度から「働く人の健康づくり」に関する事業を実施。

○本県は平均寿命が全国ワースト1位が長らく続いている。  
 その要因の一つに壮年層の死亡率の高さが挙げられている。

○県内6県民局のうち、当地域は生産年齢人口及び事業所数が最も多く、  
事業所単位で健康づくりを進める仕組みづくりが壮年層の死亡率改善の一つの方策と捉え、令和元年度から5年間事業を継続してきた。

○この5年間で、関係機関との連携体制が整い、本事業の認知度も高まり、  
本事業は体制整備の観点では一定の役割を果たしたと考えるが、一方では平均寿命の延伸は実現していない現状がある。



#### 事業内容の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
県重点事業名	三八地域働く人の健康づくり応援事業			三八地域・職域連携で働く人の健康づくり推進事業		
事業所訪問	事業所実態把握 ➡			健康経営ステップアップ ➡		
情報発信		事業所紹介レター ➡		SNS (twitter・インスタグラム) ➡		➡
応援プログラム	講師派遣21回	講師派遣1回 資料提供4回	講師派遣2回 資料提供3回	講師派遣7回 (うちオンライン1回) 資料提供2回		
研修会	健康づくり応援研修会 ➡		事業所の健康づくりセミナー ➡			➡
会議	全体会議2回 実務者会議3回 ➡	全体会議1回 実務者会議1回	実務者会議2回 (書面開催)	全体会議1回	全体会議2回 ➡	
市町村モデル				おいらせ町 実態調査・連携会議・研修会 ➡		

## 三八地域働く人の健康づくり応援事業【新規】

**現状と課題**

- 平均寿命の短さや働き盛り世代の死亡率の高さは、県内共通の喫緊の課題
- ※県基本計画地域別計画の取組の基本方針の一つに「健康・長寿で、生き生きと安心して暮らせる地域づくり」を位置づけ
- 
- 生産年齢人口（15～64歳）が県内で最も多い（県内の4分の1の生産年齢人口が居住）
- 事業所数・従業員数・製造品出荷額等も県内で最も多く、経済活動が活発な地域
- 地域内の7割の事業所が八戸市内に集中し、多くの地域住民が市内事業所に勤務
- 平成29年度から県が認定している青森県健康経営認証事業所は、県内107カ所のうち、14カ所（H30年7月末現在）認定割合は三八圏域が最も低い0.1%（県平均0.18%）
- 県民の意識調査（H30年5月実施）の結果、健康づくりに関する項目の充足率が低かった（6圏域中5番目の充足率）
 

項目	最も高い地域	三八
国民の健康づくりに対する意識が高まっていること	32.1% (西北)	27.9%
病気の予防や健康の相談・指導が受けやすいこと	30.4% (上北)	28.2%

**課題**

- ◆ 壮年期死亡の改善に向けた、働き盛り世代へのヘルスリテラシー向上
- ◆ 職場・事業所を活用した、働く人の生活習慣病予防のための環境整備
- ◆ 三八圏域全体の健康づくりに対する機運醸成

**事業内容**

健康経営認定事業所等を中心とした事業所単位の健康づくりについて、圏域の専門職と連携し推進。

健康経営認定事業所は取り組みの質向上を図り、その他認証事業所は健康経営認定事業所取得を促す。

**1 事業所健康づくり応援訪問事業**  
（@109千円）

- 地域内の事業所を訪問し、健康づくり推進体制を確認し、各課題等への個別支援を行う（健康経営認定事業所・その他認証事業所等60か所）

※@事業所健康づくり応援情報発信事業に組替

**2 働く人の健康づくり応援プログラム事業**  
（@1,056千円）

- 事業所に出向いて提供できる「健康づくりプログラム」を、一定の条件の下、圏域の関係団体に提示してもらう
- 栄養・運動・心の健康づくり・口腔・禁煙の5分野

①応援プログラム活用事業

- ・提供されたプログラムをメニュー化し事業所に提示
- ・プログラムの効果検証を目的に、講師を派遣し、事業所単位で健康づくりを実施（15箇所）

②応援プログラム普及啓発事業（5回）

- ・提供されたプログラム等を健康に関心のある個々の従業員を対象に実施し（保健所主催）、普及啓発を図る
- ・大学・学生ボランティアや企業の協力も想定

③先進地視察（大分県）H31のみ

**3 働く人の健康づくり推進会議**  
（@408千円）

- ①関係者会議（2回）
  - ・市町村・協力団体・医師会等を召集
  - ・事業の実施についての協力依頼や実績報告の場
- ②事業所健康づくり担当者研修会（1回）（先進取組発表、情報交換、有識者からの助言）

**事業効果**

- ◆ 職場単位で健康づくりに取り組む事業所が増加（健康経営認証事業所も増加）
- ◆ 「健康な生活習慣」の定着により、働き盛り世代のヘルスリテラシー向上
- ◆ 社会資源や専門職の活用、県民局からの情報発信により、地域全体の健康づくりに対する意識の向上

※@事業所健康づくり応援情報発信事業に組替

**【今後（事業終了後）の方向性】**

- 事業所と各団体が主体的に健康づくりを展開
- 県民局は新規事業所の開拓や関係者の後方支援
- ★ 県の健康づくり事業の一環として、健康経営認定制度とともに県内全域の取組としたい

**現状分析と課題**

**現状分析**

- ◆ 地域内労働者の健診有所見率が全国、県より高い。（全国56.6%、県64.8%、圏域68.1%）生活習慣に起因する血圧、脂質データが高い。（R1）
- ◆ がんの75歳未満年齢調整死亡率が全国を大きく上回っている。（全国70.0、圏域85.1）（R1）
- ◆ 協会けんぽ健康宣言実施率は、伸び幅が最も大きく、圏域最下位から圏域1位となっている。

※R1.6月末0.61%（89カ所）  
→R3.6月末2.88%（423カ所）5倍↑  
◆ 青森県健康経営事業所認定率も、伸び幅が最も大きく、圏域最下位から圏域2位となっている。

※R1.6月末0.18%（27カ所）  
→R3.6月末0.55%（81カ所）3倍↑

**課題**

- 働き盛り世代の死亡率の高さは、喫緊の課題であるが、事業所での健康づくりの取組みが不十分
- 5がん検診受診率及び精検受診率の向上が課題
- 健康宣言事業所から健康経営事業所認定につながっていない。
- 市町村と職域との連携が十分とれていない。

**事業の内容（アウトプット）**

**【概要】**

事業所における健康課題に応じた健康づくりの実践に向けて、圏域の専門職と連携し推進する。特に、市町村と協働することにより、市町村と職域との連携体制を構築し、健康経営事業所の増加と働き盛り世代の健康づくりを推進する。

**取組1 事業所の健康づくりステップアップ事業【新規】** 322千円

- ①健康経営認定へステップアップ  
新規に健康宣言をした事業所に対して、市町村との協働により個別訪問等を実施し、がん検診等健康づくりの実態を把握し、健康経営理念の啓発を図り、がん検診及び精密検査受診率の向上とともに、健康経営事業所認定へとステップアップを図る。協会けんぽとの連携により、効率的、効果的に推進する。  
(R2年度新規健康宣言事業所160カ所)
- ②投稿型情報発信  
健康づくり実践事業所の取組みをWebを活用して投稿型で情報発信し、事業所の健康づくりに関する情報の共有化を図る。また高校生・大学生が閲覧できるようにすることで、雇用促進に向けた事業所のメリットを創出する。（拡充）

**取組2 働く人の健康づくり応援プログラム定着事業【拡充】** 644千円

- 事業所従業員への健康教育を講師派遣と資料提供で実施するとともに、Webでのリモート体制の定着を図る。実施団体の情報を「応援プログラム」として内容の更新、拡充を図り、市町村と連携、協働し、事業所での活用を促す。  
(30カ所) <分野：栄養・運動・こころ・歯科口腔・喫煙・がん検診>

**取組3 市町村別地域・職域関係者連携会議【新規】** 711千円

- ①市町村健康づくり担当者会議（1回）  
②市町村別地域・職域関係者連携会議（モデル市町村2か所選定、各2回）  
モデル市町村において、協力団体・商工会・事業所等を召集し、連携会議を開催事業実施についての協力依頼や実績報告の場
- ③全体会議（2回）  
先進取組発表、情報交換、モデル市町村の取組の効果検証、有識者からの助言

**事業の目指す姿**

**事業のアウトカム**

- ◆ 労働者の健康診断における有所見率の改善。県平均を目指す。（生活習慣の改善）
- ◆ がんの75歳未満年齢調整死亡率の改善 81.3を目指す。（R4県計画目標値）
- ◆ 協会けんぽ健康宣言実施率の増加  
(R5.6月末 圏域1位継続)
- ◆ 青森県健康経営事業所認定率の増加  
(R5.6月末 圏域1位)

**最終アウトカム**

- ◆ 主体的に健康づくりに取り組む事業所の増加と情報を共有する仕組みの構築
- ◆ 市町村において職域との連携が図られ、働き盛り世代の健康づくりが推進される。
- ◆ 事業所における健康経営の理念の浸透が図られる。

## 投稿型情報発信について

### ○Twitter

三戸地方保健所  
@kenkou\_sanpachi

三戸地方保健所健康増進課です。三八地域の方々へ健康づくりの情報を発信していきます。なお、当アカウントは情報発信のみのため、メッセージ等への返信はしておりません。

⌚ [pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin...](https://pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin...) ⌚ 誕生日: 2000年10月1日  
自 2021年9月からTwitterを利用しています

17 フォロー 14 フォロワー

ツイート ツイートと返信 メディア いいね

三戸地方保健所  
@kenkou\_sanpachi

【11月は #過労死等防止啓発月間】  
「しごとより、いのち。」  
一人で悩まずぜひ相談してください。  
大切な人が悩んでいたら声をかけてみてください。  
そして話を聴いて相談先を紹介してあげてください。

■厚労省HP  
[mhlw.go.jp/seisakunitsuit...](https://mhlw.go.jp/seisakunitsuit...)

■青森県 こころの相談窓口  
[aomori-soudan.jp](https://aomori-soudan.jp)

職場における健康管理やメンタルヘルル  
対策に関する相談はこちら

●相談先一覧はこちら

●こころの窓(ポータルサイト)  
<https://kokoro.mhlw.go.j>

### 【Twitter】



### ○Instagram

三戸地方保健所  
三戸地方保健所健康増進課です。健康づくりに関する情報について発信していきます。  
SNS上での意見や質問等には対応しておりませんので、ご了承ください。  
⌚ [www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ha-hoken/ouennnprogram.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ha-hoken/ouennnprogram.html)

プロフェッショナルダッシュボード  
過去30日間に256件のアカウントにリーチしました。

プロフィールを編集 プロフィールをシェア

がん検診について

「検診」は症状のない健康な人が  
対象です。  
何歳から受けければいいのか、  
どんな種類があるのか、  
皆さんは知っていますか？

おにスワイプ

インサイトを表示 投稿を宣伝

aomori\_kenkouさん、他10人が「いいね！」しました  
kenkou\_sanpachi 三戸地方保健所健康増進課です。  
現在、日本人の1人に1人は一生のうちに何らかのがんにかかるといわれています。  
がんは、すべての人にとって身近な病気です。  
自分の身体を大切に、まず検診を受けましょう！

### 【Instagram】



# 働く人の健康づくり応援プログラムについて

**令和5年度 三八地域働く人の  
健康づくり応援プログラム**

事業所  
募集!

職場単位での健康づくり実践に向け、従業員一人一人が健康の大切さについて知り、考えていく様子。具体的に取り組んでいただきたいことを、三八地域の専門職が事業所に出向いたりオンラインを活用しながら、従業員達へ健康に関する講話や実践指導等をしたり、健康に関する情報提供をさせていただきます！ 詳細は、裏面へ。

■青森県はなぜ平均寿命が低い？

40歳以上の5歳別みの年代別死亡率を比較すると、青森県は全国的に死亡が多い=早死にが多いことが影響していると考えられています。死亡原因としては、生活習慣に起因する病気が最も多いため、生活習慣（健康状態）を見直す必要があります。

令和4年度の利用者の声（※加筆アンケートより）

**運動**

- ・ポイントをおさえして体験することで、体の慣れるところも全く無いし、肩こりや腰痛予防になることができた。
- ・体の流れからくるダメージが分かった。
- ・簡単にできるトレーニングを自分で現場で実践し、仕事中のリフレッシュにも活用したい。

**口腔**

- ・歯周病院により様々な病気になるかもしれないということにびっくりした。白歯からメンテナンスに気をつけたい。
- ・歯間ブラシ、デンタルフロスをこれからは使ってみたい。
- ・歯みがきのしかけを見直し、1本でも自分の歯を残せるようにしたい。

**こころ**

- ・自分の思考の癖があることをはじめて知った。思考の癖を改めて知り、メンタルヘルスの不調を予防したい。
- ・相手のストレスに気付いてあげられるようになりたい。相手の変化に気が付いたら何か話を聞きたい。
- ・練習する時のポイントが参考になった。今後、現場の仲間と話をすると時に実践したい。

従業員の健康づくりについて地域の専門職と一緒に考えてみませんか？

## ＜目的＞

事業所が具体に従業員の健康づくりの取組を進めていくことや、従業員の健康教養（ヘルスリテラシー）を高めるために、事業所に出向いて講義や実技を実施できる団体等を一覧表（プログラム）にし、事業所が活用しやすい環境を整える。

## ＜プログラムの内容＞

健康あおもり21八戸圏域版（第2次）に基づき、栄養、運動、心の健康づくり、喫煙、口腔の5分野、及びがんを主に、とりまとめる。

事業所がイメージしやすいように、講義や実技のテーマについていくつか例示を挙げるが、実際に支援に入る際には、希望する事業所と具体な内容を詰めて決定する。

## 申し込みから講師派遣までの流れ

- ① 申込書の提出（様式第1号）
- ② 日程調整等の結果連絡待ち（様式第1号）
- ③ 保健所や市町村職員による聞き取り
- ④ 講師への連絡（参考資料）
- ⑤ 講師を迎えての当日、アンケート回収

希望日の1ヵ月前までが申込の目安です。  
保健所が事業所と講師間の調整をするので、気軽に問合せ・申し込みください。



※当日の準備物や流れを講師と調整  
オンラインの場合はテレ接続等で確認することも可能

※当日は原則、保健所が事業所で同席します  
(オンライン対応の場合、簡単な操作サポートは可能)

お申し込み方法	講師派遣の申し込み	資料等提供の申し込み
郵送、FAX、持参の場合	実施要領 様式第1号	実施要領 様式第4号
「青森県電子申請・届出システム」によるWeb申請の場合	【URL】 <a href="https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=10172">https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=10172</a>	【URL】 <a href="https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=10179">https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=10179</a>

●お問い合わせ・申し込み先● ※資料提供の場合は様式第4号を用いて申し込み、同様の流れとなります。

〒039-1101 八戸市尻内町鴨田7 三戸地方保健所健康増進課

TEL : 0178-27-5111 (内線287) FAX : 0178-27-1594

実施希望日の**1ヵ月前まで**を目安にお申し込みください。

初めての活用の場合、無料で体験できる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

## 令和5年度 三八地域働く人の健康づくり応援プログラム メニュー一覧

分野	団体名 (登録)	講師派遣により健康講話や実技指導等							料金
		テーマ	概要	実施方法	オンライン対応	対応可能時間帯	所要時間	講師派遣地 刈谷市町村	
精神・ 癡呆	精神保健福祉士会 (アーチャー)	重活でウイルスに負けない健 康の本拠点に入れよう	平日は音楽アップによるメリットを説明後歓かト レーニング、エクササイズ等、リラクゼーションします。	・講師 ・イスに座ったまま行う実技	×	いつでも毎日、 その都度実施可	60分	刈谷市 刈谷市	10,000円・ ★雇用
	精神保健福祉士会 / 元支那 (精神疾患士)	いつまで年齢！ 健常づくりのための運動生活	筋トレと呼吸(本場第二遍)「運動の情報について」 ・筋肉20分、骨格20分(×呼吸)、本場日本本 洋、マタニティ、上級者、高齢者にむけて実施。 ・坐骨筋膜に効果的にむけて、支撑運動	・筋トレ実施は軽く汗をかく程度。 ・筋肉運動は力の出し方。 ・オンライン対応の場合は、 Zoomを使用します。	○	いつでも毎日、 その都度実施可	60~90分	刈谷市 刈谷市	10,000円・ 公共交通機 関料金込
運動	芦戸市スポーツ会員会 / 元支那 (精神疾患士)	へこみで年齢！ 健常づくりのための運動生活	筋トレと呼吸(本場第二遍)「運動の情報について」 ・筋肉20分、骨格20分(×呼吸)、本場日本本 洋、マタニティ、上級者、高齢者にむけて実施。 ・坐骨筋膜に効果的にむけて、支撑運動	・筋トレ実施は軽く汗をかく程度。 ・筋肉運動は力の出し方。 ・オンライン対応の場合は、 Zoomを使用します。	○	いつでも毎日、 その都度実施可	60~90分	刈谷市 刈谷市	5,000円・ 完全に書き き
	芦戸市スポーツ会員会 / 元支那 (精神疾患士)	へこみヨガカラダクリニック ～身体に鍛えられる運動手 順～	右右左順序で走行して取り組む運動を実施。 立位でしくじる場合は、より柔軟性の高いヨガ～ヘル シ等で初歩から手順などを確認後に日々の動作で 実践して実施します。	・筋肉運動(本場実施) 二本主 筋を合わせて20分で実施。 ・オンライン対応の場合は、 Google MeetでZoomを活用 して実施に当たります。	○	8:30~20:30 毎日に対応する場合 ・筋肉運動に当たる場合	30~90分の 間で本場での 実施にむけて 実施	刈谷市 刈谷市	
医 療 介 護	精神保健福祉士会 / 痴呆症 (精神疾患士)	口唇禿のメンタルヘルス講 習・セルフケア(ストレス アート)～インケイク(落書き、上書きに よるアート)～ ・コトレスチャッカの活用と 精神障害者のヒント など	メンタルヘルスに興味したなのであれば、興味に むけた内容で行います。内容にむけてご相談す る内容、ご質問などリース講義を随時お伺いす ます。	・講師 ・実技 ・ワークショップ　など 出逢った人に対応は、講師に導 いて実施により、そこでの知識 習得にて対応します。	○	平日、休日、 早朝、夜遅くとも その都度実施可	60~120分	刈谷 市 おひな祭 り市 三河 市 西尾 市 豊川 市 豊橋 市 豊明 市	10,000円・ ★雇用
	芦戸市保健所 (保健師)	ストレスとよくつきあわる ポイント調査	ストレス解消法、心の不調和にどのように対応 する、並びにすればよいのかお話しします。	・講師 ・実技 出逢った人に対応は、講師に導 いて実施により、そこでの知識 習得にて対応します。	○	平日のみ 9:00~16:30	希望に準ずる	刈谷 市	単料
栄養	芦戸市保健所 (栄養士)	タバコと健康	タバコの吸い込みによる影響と禁煙への努力 (タバコが喫煙者に带来する心、肺、目)	・講師	×	平日午後 14:00~15:00 ・祝日も可	30~60分	刈谷市 刈谷市	10,000円・ オンライン (10人/回)
	芦戸市保健所 (栄養士)	栄養管理による健康 ～糖尿病についてのポイント～	糖尿病にかかる対応策、どのように糖尿病を 改善して取り組むようにお話しします。	・講師 ・オンライン対応の場合は、 Zoomを使用します。	○	平日のみ 9:00~16:30	希望に準ずる	刈谷 市	単料
口腔	精神保健福祉士会 / 痴呆 (精神疾患士)	歯科医院にかかる際の健 康な立ち方を実習しまし ます	歯科医院にかかる際の立場と対応方法を口 腔専門家が指導するものになります。	講師	○	平日、休日、 早朝、夜遅くとも その都度実施可	30~60分	刈谷市 刈谷市	10,000円・ 公共交通機 関料金込
	精神保健福祉士会 / 痴呆 (精神疾患士)	歯科医院と会話への慣れ	由職員と歯科医院との会話の仕方を確認してお こなすことを目標にします。	講師	○	平日、休日、 早朝、夜遅くとも その都度実施可	30~60分	刈谷市 刈谷市	単料
がん 予防	芦戸市、かいじ市役所、芦戸市、芦戸 市、豊川市、豊橋市、豊田市、春日井 市(医療機関、看護専門士)	がんがん検査に間に合うこと へがん検査の実施方法等	がん検査の大切さ、地域で実施しているがん検 査の種類の紹介やお問い合わせ窓口等。	・講師 ・オンライン対応場合の場合は、 おひな祭り、三河市、田子 島、豊川、豊橋、豊田(10人/回 Zoom)	△	平日のみ 9:00~16:30	30~60分の 間で本場での 実施にむけて 実施	刈谷市 刈谷市	単料

※3 「がん」分野の講話は事業所の所在地の自治体保健師等になります。また、オンライン対応可能な自治体は記載しておりますので、御確認ください。

※3 「がん」分野の講師は事業所の所在地の自治体保健師等になります。また、オンライン対応可能な自治体は限られておりますので、御理解ください。  
※2 オンライン対応を希望する場合、事業所内のインターネット環境は、会員登録してくださるようお願いいたします。

## 事業所での 健康教育の状況



牙科口腔



運動



栄養・運動



二二五(オンライン)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (9月末)
応援 プログラム	講師派遣21回	講師派遣1回 資料提供4回	講師派遣2回 資料提供3回	講師派遣7回 (うちオンライン1回) 資料提供2回	講師派遣4回

あ  
元  
気  
魅  
力  
い

**県内6エリアのご当地自慢祭**

**地域県民局 ZOOM UP!**

【三八地域】  
三八地域振興局  
地域健康支援部  
部長 吉田 麻由美

【地域振興局は】地域の特徴を生かした魅力を発見する場として、県内各地域に「青森・中南・三八・東北・西・北・南」に設置された、まち・ひと・しごと・まちづくり担当機関。それぞれの場元に委嘱した特徴づくりを進めています。

三八エリアと  
\\いえばこれっ//

**国史跡三戸城跡  
城山公園**  
三戸町の高台にあり、歴史跡に指定された三戸城跡は、歴史ファンにお勧めなのはもちろんのこと日本の歴史公園100選に選ばれた広い園内からは三戸町を一望でき、ウォーキングでもお勧めです。

**ひばりの公園**  
五戸町にある運動公園、競技場のほか、通農広場やわくわく冒険広場など、小さいお子さんが身体を動かして遊べる施設があります。運動不足解消に、お子さんと一緒に出かけてみませんか。

特集内容について詳しいは **三八地域 働く人の健康づくり**  
三八地域振興局 地域健康支援部保健課 (三戸地方保健所) 保健課係課 電話0178-27-5111

## 会議について

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
県重点事業名	三八地域働く人の健康づくり応援事業		三八地域・職域連携で働く人の健康づくり推進事業			
会議	全体会議2回 実務者会議3回	全体会議1回 実務者会議1回	実務者会議2回（書面開催）	全体会議1回	全体会議2回	

- 事業開始当初から、毎年関係者を参考して会議を実施（2次医療圏域地域職域連携推進協議会併催）
- 令和3年度までは応援プログラム提供団体のみを参考する実務者会議も併せて実施していたが、令和4年度からは全体会議のみ実施している

### <全体会議参考範囲>

**八戸労働基準監督署・八戸地方労働基準協会・全国健康保険協会 青森支部**

**八戸地域産業保健センター・八戸商工会議所・各町村商工会・市町村**

**健康づくり応援プログラムの提供団体（7か所）**

（南部町健康増進公社「バーデパーク」、青森県理学療法士会八戸支部、五戸町スポーツ振興公社、青森県公認心理師・臨床心理士協会、八戸薬剤師会、青森県歯科衛生士会三八支部、青森県栄養士会八戸地区会）

## <協議内容>

- ・当該年度の事業の全体像の説明
  - ・当該年度の応援プログラム実施の依頼
  - ・過年度の事業実施報告
  - ・事業の枠組みや応援プログラムの修正、見直しの検討
  - ・県重点事業終了後の事業継続の可否の検討
- 等



## 4. 令和6年度以降の定着に向けて

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
県重点事業名	三八地域・職域連携で働く人の健康づくり推進事業		
事業所訪問	健康経営ステップアップ		
情報発信			(2)
応援プログラム	講師派遣7回 (うちオンライン1回) 資料提供2回		(1)
研修会			
会議	全体会議1回	全体会議2回	(3)
市町村モデル	おいらせ町 実態調査・連携会議・研修会		

●令和6年度以降、既存の事業やその予算を活用し、以下の取組について継続予定

●2年毎に事業継続の可否について全体会議で検討を行う

(1) 働く人の健康づくり応援プログラム事業

(2) SNSを活用した情報発信

(3) 全体会議

(県事業：地域・職域連携推進協議会と併催)

(4) 事業所向けの研修会

(数年に1回、保健所事業：地域保健関係者研修として開催)

**<課題>**  
応援プログラムの事業所周知の費用の捻出がネック

全体会議出席団体と検討予定

## 健康日本21（第二次）最終評価報告書

令和4年10月  
厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会  
健康日本21（第二次）推進専門委員会

日ごろ健康づくりに携わる機会の少ない職域団体には、経営的視点での健康づくりの必要性の理解を促すことが重要

（青森県三八地域県民局地域健康福祉部保健総室（三戸地方保健所）健康増進課）

令和元（2019）年度は、圏域内に所在する青森県健康経営事業所、及び健康宣言事業所を66か所訪問し、健康づくりの取り組み状況を把握しながら、他事業所の取り組み等を紹介。

また、働く人の健康づくり応援プログラム事業として、「栄養」「運動」「こころ」「喫煙」「口腔」の5分野において、講師派遣による健康教育等を実施。事業所への講師派遣は、地元の職能団体等5団体の協力と、保健所職員による7つのメニューで応援プログラムを作成し、希望事業所を募集し実施した（1回無料）。

※ 令和2（2020）年度の新規取組として、健康づくりに関する内容を含む事業所の魅力紹介レターを年2回発行。働く人の健康づくり応援プログラム事業の講師派遣や資料提供を活用した3事業所の活用状況と活用後の事業所内の取組内容を掲載した。事業所の魅力紹介レターは、事業所間の情報共有だけでなく、高校・大学生向けにも発信することで地元就職の雇用促進につながるよう、事業所のメリットを創出するという視点も考慮した。